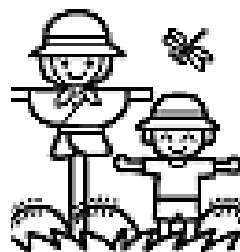




大智寺 開山忌

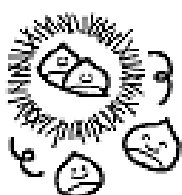
10月30日

お寺の境内が、金木犀のいい香りに包まれ
山で栗が落ち始めると、
そろそろ開山忌。
大智寺にとって最も大切な法要が営まれます。



大智寺は1500年(明応9年)に、北野城主鷲見美作守保重の菩提寺として
創建されました。その際、岐阜の瑞龍寺からこの地へお招きした和尚様が、
大智寺の開山様 玉浦宗珉(ぎょくほそうみん)でした。

玉浦宗珉とはどんな和尚様だったのでしょうか。



京都妙心寺に東海庵という塔頭がありますが、
その東海庵を開き「東海派」の始祖となられた悟溪宗頓
(ごけいそうとん)という方が、開山様の師でした。
当時 悟溪宗頓は、美濃の守護代齊藤氏の外護により岐阜
瑞龍寺で弟子の育成、布教活動を精力的に行い、美濃地域に
「東海派」を急速に広めておりました。

しかし、玉浦宗珉が大智寺を開いた年の9月に、
悟溪宗頓はお亡くなりになってしまいます。

そのころ、美濃加茂城主 齊藤越前守利国の奥様で、
夫が戦死した後、出家をした利貞禅尼(りていぜんに)と
いう方がおりました。この方は、深く臨済宗に帰依し、
1509年仁和寺領を買い求め 妙心寺に寄進し、
妙心寺の境内を当時の3倍の広さにまで拡張したという、
妙心寺の歴史を語る上で欠かせないお方です。



玉浦宗珉は、師が亡くなった後、その意志を受け継ぎ
そんな利貞禅尼の援助を受け、東海庵をはじめ妙心寺の拡張整備に尽力しました。

玉浦宗珉は、こうして本山妙心寺の拡張整備に関わる一方、
大智寺にて「玉浦派」と呼ばれる門派を作り、多くのお弟子を育てました。

中でも景聰興昂というお弟子は、玉浦宗珉より印可を受け、
美濃大矢田に「道樹寺」を開きました。

この道樹寺からは、「清泰寺」(美濃市)の開山様や「福寿寺」(関市)の開山様、
「長春寺」(関市)の開山様、「龍福寺」(関市)の開山様など、
多くの高僧が輩出されました。



また、同じく大智寺にて修行をされた文叔瑞郁というお弟子は、
信州市田の「松源寺」を開きました。この文叔瑞郁のもとからは
「龍潭寺」(静岡県)の開山様が輩出されています。

こうして大智寺を開かれた玉浦宗珉の足取りを追ってみると
お寺は師の教えを基軸に、すべてつながっていることがわかります。

毎年おこなわれる開山忌は、
この大智寺の開かれた頃に思いを馳せるとともに、
一ヶ寺、一ヶ寺が仏法を基につなっており、それは
たどっていけばお釈迦様に帰する深い縁であることを
改めて感じさせられる、心ひきしめる法要なのです。



大智寺だより

平成25年神無月
Vol.44

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去の紙面を閲覧いた
だけます。ご活用ください。

9月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

長良川おんぱく 一日岐阜漫遊ツアー

「長良川おんぱく」って最近よく聞きますが、ご存じですか？

「長良川おんぱく」とは、年2回春秋に期間限定で開催される小さな体験イベントをたくさん集めて観光の目玉にしたもので、今年で3年目となる新しい取り組みです。長良川温泉博覧会実行委員会が主催しており、今年の秋(9月28日～11月10日)には、130もの体験プログラムが用意されています。

長良川温泉の発展や岐阜市の観光を盛り上げるために用意された体験プログラムは本場に多種多様な本格的なお食事を楽しんだり、町並み探検や自然満喫、舟遊びやヨガ、料理教室、いろいろあります。お近くの白木酒造様の古酒を味わう会もあります。

そんな長良川おんぱくのプログラムの中で、今回「岐阜バスでめぐる 一日岐阜漫遊ツアー」(主催は岐阜バス観光株式会社)というイベントが10月19日に行われます。岐阜市まちなか案内の方のガイドで「岐阜の魅力を再発見する」というのがコンセプト。加納城跡や中山道を訪れ、鏡島弘法へお参りした後、長良川うかいミュージアムで食事をとって、ここ大智寺へいらっしゃり、三田洞弘法、護国寺をお参りするという一日がかりのイベントです。

長良川温泉からだいぶ離れたこのお寺に、わざわざツアーを組んでお参りいただけるとは、本当にありがたいことです。当日お天気に恵まれ、多くの方とお会いできることを祈っております。



弘法堂のお掃除ありがとうございました

9月5日、里5号の方々がお彼岸前の弘法堂のお掃除をしてくださいました。ちょうど大雨が降った翌日で、足もとがぬかるむ中、お掃除にきていただき、きれいに菊やケイトウのお花を生けてくださいました。本当にありがとうございました。



～ シリーズ 美濃西国三十三観音霊場 その④ ～ 4年に一度の総開帳 平成26年4月6日(日)～4月20日(日)

霊場めぐり ひとくちメモ



「三十三観音霊場」と聞くと代表的なのは「西国三十三観音霊場」ですが北は「北海道三十三観音霊場」から南は「九州三十三観音霊場」まで実に、全国約41か所ほどの「観音霊場」があります。岐阜県にも「飛騨三十三観音霊場」「恵那三十三観音霊場」、そして大智寺の所属する「美濃西国三十三観音霊場」があり、県を超えると「三河三十三観音霊場」「尾張三十三観音霊場」「遠州三十三観音霊場」など様々な霊場があります。お寺参りをしていると、いつの間にか日本を一周巡ってしまうほどですね。

霊場のご紹介

- 第十番札所 : 臨済宗妙心寺派 廣巖寺(山県市) ご開帳: 聖観音菩薩
秘仏聖観音菩薩は、北野城を築き高富一帯を掌中にした驚見家伝来の護念仏です。
- 第十一番札所 : 臨済宗妙心寺派 大龍寺(岐阜市) ご開帳: 腹帯子安観音菩薩
岐阜市の風物詩「だるま大祭」で知られるこのお寺では、胎児安泰の観音様をお参りできます。
- 第十二番札所 : 臨済宗妙心寺派 禅徳寺(美濃加茂市) ご開帳: 聖観音菩薩
井深の正眼寺の近くにあるお寺、平成20年より美濃西国札所に加わりました。

お寺では、これから観音霊場巡りをなさる方に、奉納経(一冊500円)をご用意しております。この奉納経は、各お寺のご朱印をいただくための 美濃西国三十三観音専用のものとなります。



～ 観音様の教え 『延命十句観音経』 ～

第四句：与仏有縁（よぶつうえん）

子どもも唱えられる 一番短いお経から、
観音様の教えを簡単にご紹介。



岐阜は柿の産地として知られていますが
たとえば山奥の柿の木から実が落ちて、種が自然に発芽するにはいろいろな条件が必要になります。
石の上に落ちた種、日陰に落ちた種、大雨の日に落ちた種・・・
よいタイミングで落ちて、適した土壌で、ほどよい日光や雨を受け、木として成長していきます。
種が落ちた所、お天気具合など大いなる自然すべてが発芽するための「ご縁（きっかけ）」です。

前の句「与仏有因（よぶつういん）」にて
私達の心の中には分けへだてなく「仏となる種」がまかれていると、観音様は教えてくださいました。
でも柿の種のように、種の落ちた所の状況・環境が悪く、人によっては発芽しない、なんて困ります。

だからこそ、
「与仏有縁」 — 「仏となる種」が発芽するために必要な「ご縁（きっかけ）」は誰にでもある
と、観音様は付け加えて教えてくださいました。
いろんな人と出会って味わう喜怒哀楽、すべては「仏縁」であり、発芽するためのきっかけなのです。

今年のおひじょう

赤や白の萩が揺れる中、夕日を浴びた赤とんぼの群れが心なごませてくれる季節となりました。
山で栗が落ち、秋が深まるというなつかしく思い出すことがあります。

一年前の秋日の中、お参りに来られた4才程の女の子が、私に「このお寺には三角の小人がいる」と教えてくださいました。私が内心「何のことかしら」と思っていると、お手洗いのトイレレットペーパーの手先を三角に折り曲げる小人のことだとか。

先日、子供って本当におもしろいことを考えるなあと、思い出し笑いをしながらお手洗いの掃除に向かいました。

「三角の小人がお掃除しちゃいますよ」と、トイレレットペーパーを見ると、すでに三角に折り曲げられています。前日には確かにお客様がお手洗いを使っていたはずなのに、あれね？

私は「三角の小人」は自分だとばかり思っていたのが恥ずかしく、お手洗いの中で独り赤面していました。

お手洗いに限らず、気づけば時々お地藏様のお花が変わっていたり、石畳に落ちていた大枝が処理されていたり、大智寺は「お寺の小人」がいっぱいいます。

今月は開山忌を迎えます。
開山忌には、大智寺がたくさんの「お寺の小人」に守られていることを開山様にお伝えできればと思っています。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 （番外編）～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

広見のおじちゃん 飛騨の味 赤だつのお漬物

- ① 赤だつの皮をむいて約5cmに切って、スプーン5杯の塩を入れてよくもむ。
- ② 水気をよくきって100ccのお酢を入れて、ねじ式の漬物容器で漬ける。
- ③ 2週間くらいそのまま冷蔵庫に保管しておき、できあがったらあまり日持ちしないので食べる分はとっておいて、あとは冷凍保存する。



この分量は、だいたい片手でぎりぎり持てるくらいの赤だつ一束分。
おれが飛騨に行った時、聞いてきた作り方やけど、酢炒りとはひと味がうそ。どーだろ？



～ うちの宗教って、どんなやつけ? ～

第十回：大智寺の開山様 玉浦宗珉（ぎょくほそうみん）



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

応仁の乱の後、妙心寺の復興に奮闘した雪江宗深（せっこうそうしん）の4人弟子はそれぞれが妙心寺内に庵を作り（龍泉庵・東海庵・靈雲院・聖澤院）そこを拠点に全国で布教し、それぞれ龍泉派・東海派・靈雲派・聖澤派と呼ばれました。

この体制を「妙心寺の四派四本庵（しはしほんあん）」と言いますがその中の東海派の祖が岐阜寺町にある瑞龍寺の開山様 悟溪宗頓（ごけいそうとん）でした。悟溪宗頓には、「東海の八哲」と呼ばれる優秀な8人の弟子がおりました。

この8人の中には、岐阜の崇福寺の開山様（独秀乾才）や高富の大龍寺の開山様（瑞翁宗縉）、岐阜の大宝寺の開山様（興宗宗松）そしてここ大智寺の開山様（玉浦宗珉）が名を連ねています。

悟溪宗頓のもとで修行を続けていた玉浦宗珉は、北野城主 鷲見美作守の菩提寺を創建するべく1500年（明応9年）、大智寺にいらっしゃいました。大智寺が創建されたこの年、くしくも玉浦宗珉の師である悟溪宗頓は85歳で亡くなりますが、師の思いを引き継ぎ、開山様は大智寺にて多くの修行者を指導し全国に送り出しました。

大智寺では今月、開山様の法要「開山忌」が営まれます。山門手前に残る「玉浦派古道場」という石碑は、当時の面影をひっそりと今に伝えています。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

10月27日（日） 一回 500円
（朝8時～9時） （内300円は義援金）
要申込

9月写経会 備忘録

秋空たかく彼岸花が盛りを迎えた9月の写経会。今回お写経をした観音経の部分では「観音様はこの世のすべてを見ています。そんな観音様をいつも仰ぎみて、心に願いなさい。太陽のような智慧をもつ観音様はその光で、世界を明るく照らしてください」と説かれていました。難しい字が並んでいますが、少しずつ意味がわかってきます。

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。